

琉球大学大学院人文社会科学研究科における長期履修制度実施要項

平成 23 年 3 月 16 日
制 定

（趣旨）

第 1 条 本要項は、琉球大学大学院学則第 26 条の 3 に基づき、琉球大学大学院人文社会科学研究科における長期履修制度について定める。

（目的）

第 2 条 職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程 2 年、博士後期課程 3 年）では、大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象とし、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することにより学位を取得できるようにするものである。

（出願資格）

第 3 条 長期履修学生の出願資格は、次のいずれかに該当する者とする。ただし最終学年は除く。

- （１）職業を有する者
- （２）育児、出産、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- （３）その他やむを得ない事情により標準修業年限で修了することが困難であると研究科が認めた者

（計画的履修）

第 4 条 長期履修を希望する者は、あらかじめ指導教員（指導教員が不明の場合は領域主任等）に、長期履修の必要性、履修計画を相談し、その承諾を得なければならない。

（出願手続き）

第 5 条 長期履修の出願手続は、次の各号に掲げる時期に長期履修申請書（様式 1）を提出するものとする。

- （１）新入学生は、入学手続期間内
- （２）在学生は、2 月 1 日から 2 月末日まで

（履修期間）

第 6 条 長期履修学生の履修期間は、次の各号に掲げるとおりとする。なお、長期履修を認める期間は 1 年単位とする。

- （１）前期課程においては、3 年間又は 4 年間
- （２）後期課程においては、4 年間、5 年間又は 6 年間

第 6 条の 2 休学期間は、長期履修の修業年限に含めないものとする。ただし、標準修業年限を超えることはできない。

(授業料)

第7条 長期履修学生の授業料は、国立大学法人琉球大学料金規程第2条第2項による。

例：長期履修学生の年間授業料＝通常の年間授業料×標準修業年限÷長期履修期間の年数

(長期履修期間の延長)

第8条 長期履修期間の延長はできない。

(長期履修期間の短縮)

第9条 長期履修を必要とする理由が消滅し、標準修業年限で修了が見込める場合は、長期履修短縮願（様式2）により長期履修期間を短縮することができる。短縮は1年単位とする。

なお、短縮が認められた場合は、短縮にかかる授業料の差額を納入しなければならない。

(改廃)

第10条 この要項の改廃は、人文社会科学研究科委員会の議を経て研究科長が行う。

附 則

- 1 この要項は、平成23年3月16日から実施する。
- 2 琉球大学大学院人文社会科学研究科における長期履修制度実施要項（平成19年3月20日 運営委員会決定）は廃止する。